

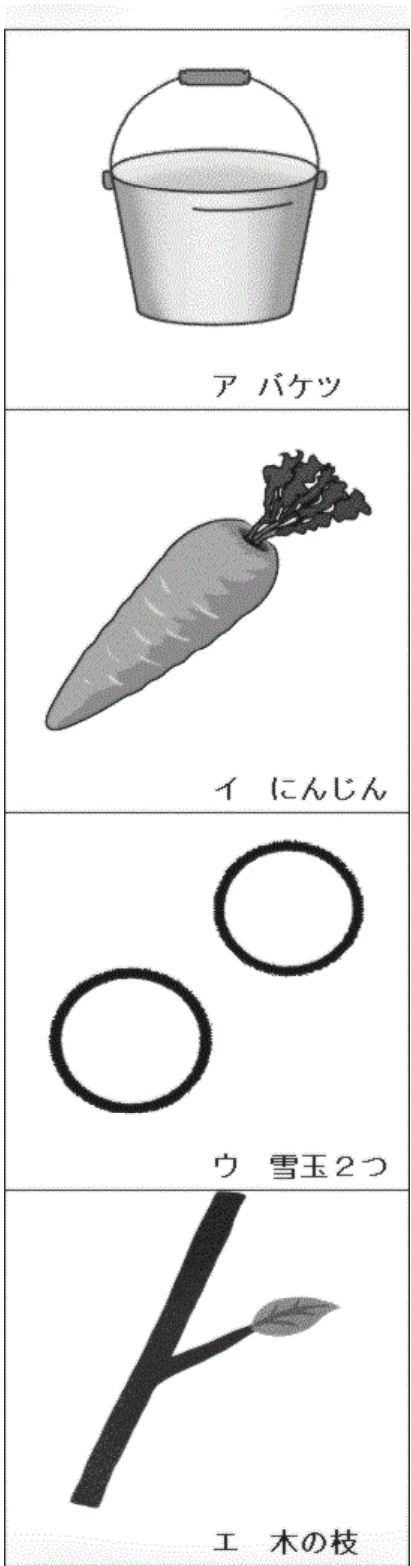
問1 「2017年時点での文章の筆者の予想」と上の「実際の訪日外国人数の推移を示したグラフ(図1)」を比較して述べられることとして間違っているものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 訪日外国人が順調に増加するという筆者の見込みは、新型コロナウイルスによって大きくはずされている。
- イ 筆者は2018年も訪日外国人が一層増えることを予想していたが、実際にはわずかな増加にとどまった。
- ウ 2017年まで訪日外国人数の増加は好調であり、この時点での判断として筆者の予想は間違っていない。
- エ 2013年から訪日外国人の増加傾向が始まっているのは、筆者が述べるように東京オリンピックが要因である。

問2 とりわけ観光業の分野で「異文化理解」への関心が高いことは、どのような取り組みにあらわれているか。最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 東京オリンピックの開催に向け、増えていく訪日外国人をもてなすこと。
- イ 各国の人の特徴を頭に入れ、より良い対応ができるように工夫すること。
- ウ グローバルな人材を採用し、より円滑にコミュニケーションをとること。
- エ どのような場所でも楽しめる要素を探し、観光ができる場所にする。

問3 筆者が主張する「日本の雪だるま」を作る場合、①必要でない材料を次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。また、②「日本の雪だるま」ではその部位にどのような材料が使われているか、簡潔に答えなさい。



問4 韓国でプチトマトがショートケーキに乗っているのはなぜか、その理由を解答欄の記述に合うように二十字以内で答えなさい。

問5 他国の文化を破壊、否定する行為の具体の事例としてあげられた次の一文の□に適語を補いなさい。
ポแลนด์語での授業を禁止し、□を強制すること

問6 世界の文化の違いを楽しむことを筆者が積極的に勧めるのはなぜか。最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア ビジネスの現場では、より円滑なコミュニケーションを図ることが推進されているから。
- イ ビジネスの現場では、「世界を知ろう」という動きが他の分野よりも先んじているから。
- ウ 文化の違いを楽しむ態度を持つことが、多様な文化や言語を認める平和への第一歩だから。
- エ 文化の違いを楽しむ様子を「平和の証」として発信することで、観光客を呼びこめるから。

※スクリプトは、次の資料を元に作成しました。著作権の関係により、掲載はできません。

おかべたかし『くらべる世界』（東京書籍、二〇一八）

二

次の文章は朝倉かすみの短編小説「留守番」の初めの部分です。文章を読んで後の問いに答えなさい（設問の都合上、本文を一部省略・変更しています）。

※この問題は、著作権の関係により掲載できません。

- (注) ※1 通夜 告別式より前の夜に設けられる故人とのお別れの場。
※2 上がり框 靴を脱いでまたぐ玄関の段差に取り付けられた横木。

問1 線部 a e のカタカナは漢字に直し、漢字はその読みをひらがなで答えなさい。

問2 線部 (1) (2) の意味として最も適切なものを次のア～エから一つ選び、それぞれ記号で答えなさい。

- (1) ひとりごちる ア 独力で解決する イ 独り言を言う ウ 自分に言い聞かせる エ 自分をなぐさめる
(2) 根負け ア 気力がなくなる イ 立場を失う ウ 相手を言い負かす エ 相手の責任にする

問3 A、B に入る「アイス」の表記の組み合わせとして最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア A アイスウ B B アイイスツ イ A アイイスー B B アイイスツ
ウ A アイイスー B B ア・イ・ス エ A ア・イ・ス B B アイスウ

問4 C、D に入る語の組み合わせとして最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア C C しっかり D D ガクガク イ C C しっかり D D きちん
ウ C C ガクガク D D ゆらゆら エ C C ゆらゆら D D きちん

問5 E、F、G に入る呼び名を次のア～カから一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア ウーチカ イ タマゴン ウ 卯月 エ 珠緒 オ ウーちゃん カ タマちゃん

問6 線部①「目の穴がひろがる」とは、どのような状態ですか。「く状態」に続く形で**五字以上十字以内**で答えなさい(句読点等を含む)。

問7 線部②「突き放すように言って」とあるが、その理由として最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア タマゴンの黒い目の奥に、妹に抱く嫌悪感が映されているように感じたから。
イ 幼い子どもに通じない正論を主張するという自分の行為が愚かに思えたから。
ウ 目を閉じない言いわけを続けるタマゴンの扱いに、困り果ててしまったから。
エ 黒々と濡れたもので満たされた目を感じた不気味さを払いのけたかったから。

問8 線部③「不毛な会話だ」、④「……不毛」とあるが、これらの言葉を発したウーチカ的心情を表す語として**適切でないもの**を次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 我慢 イ 気休め ウ 背伸び エ 冷酷

問9 本文の表現に関する説明として**適切でないもの**を次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア ウーチカが心の中で思っていることは「」を使わずに表現されており、読者にウーチカの視点で物語を読ませる効果がある。
イ タマゴンの身体を形容する際に「ぶっくりと」「いきいきと」などの表現を用いることで、幼い子どものみずみずしさを表している。
ウ 「目の穴」のエピソードは、タマゴンの世話を押し付ける母やいつまでもよそよそしい父に対するウーチカの不信感を暗に示している。
エ 「ウーチカ」「タマゴン」という呼び名のみを最初に示し、徐々に本名や家族関係を明らかにする構成によって、物語世界への興味を抱かせている。

二 次の文章は、「A」日高敏隆「犬のことば」と、「B」河合雅雄「サルが目 ヒトの目」の一部である。文章を読んで後の問いに答えなさい。(設問の都合上、本文を一部省略・変更しています)。

※この問題は、著作権の関係により掲載できません。

(注) ※1 出自

生まれること。でどころ。

- ※2 個性 動物が群れから独立して生活を営む性質のこと。
- ※3 パーソナリティ その人に備わっている固有の性格。個性。

問1 線部a～fの漢字をひらがなに、カタカナを漢字に直しなさい。

問2 線部①「問題はもつと根深いようにみえる」とあるが、筆者が考える問題とはどういうことか。その説明として最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 狭い空間の中で見ず知らずの者同士が出合っているのだという認識そのものすらないように思われるということ。
- イ 狭い通路をすれ違うときに、相手が先を譲って身体をよけるのが当然だと考える人が多いように思われること。
- ウ 「失礼」とか「すみません」というようなあたりまえのことばを、一度も使ったことがないように思われること。
- エ 相手の顔を見て挨拶するという行いを動物的な行動パターンとしてとらえ、嫌っているように思われること。

問3 線部②「あいさつなんかする必要はない」とあるが、この認識はBの文章ではどのようなものとして表現されているか。二十字以内で抜き出して答えなさい(句読点等を含む)。

問4 線部③「あいさつというのはもつとずっと動物的なものであり」とあるが、「あいさつ」が「動物的なもの」とはどういうことか。その意味をBの文章の**内容に基づいて説明したときに最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。**

- ア 挨拶は個人の自由をしばらくつけるものとも考えられ、動物の中で高い文化を持つ人間社会では否定されることもある。
- イ 挨拶はことばを知らない動物さえもが持っている行動様式であり、ことばを使う人間がそれを持つのは当然といえる。
- ウ 挨拶は人間社会でも見られる行動であるが、本来はなわばりを持つて生きる動物社会でこそ必要とされるものである。
- エ 挨拶は人間を含めた動物が社会の中で他と協調していくうえで、みずから攻撃性を抑えるための働きをするものである。

問5 線部④「挨拶を忘れ、相手に対して微笑を投げかけることを忘れた人達が出現してきた」とあるが、この現象を筆者はどのように感じ取っているか。その説明として最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 人類出現の時代から続いてきた共通の文化が消滅してしまい、道徳心が低下していることを悲しんでいる。
- イ 人間社会に親和関係が薄れ、排他性と攻撃性に支えられたなわばり性が台頭してくることを心配している。
- ウ 若者たちが平等と自由を必要以上に称賛するあまり、従来の社会的権威を否定しがちなことを嘆いている。
- エ 集団の秩序維持に不可欠の順位制が人間社会から追放され、社会が無秩序になっていくことを恐れている。

問6 次の文章は、動物学の見地からBの筆者が「挨拶」という行動をどのようにとらえているかを説明している。I～IIIに当てはまる表現として最も適切な語をBの文中から抜き出しなさい。ただし、I・IIは五字以内、IIIは十字以内とする。

動物は個性を獲得するために **I** を本性として持っている。そこにある排他的な行動傾向を抑制するため、ある種の動物たちは集団を組織した。そこでは、集団の秩序維持のために新しい規則、すなわち **II** が必要となってくる。しかし、その規律が強まると個性は行動の自由を制限されることになる。挨拶行動は、動物の持つ排他性と攻撃性を抑止しつつ、個体の自由な行動を保障するための **III** とみることができる。

問7 この二つの文章は、最近の日本人、若者が日常的な挨拶の習慣を失いつつあることを述べています。このような見方に対してあなたはどうか考えますか。あなたの考えを三〇〇字以内で書きなさい。ただし、次の条件を全て満たしていること。

- 条件1 二段構成で書き、それぞれの段落の始めは一字下げること。
- 条件2 一段目に問いに対する自分の考えを明確に示すこと。
- 条件3 二段目で、考えの理由を具体的な事例をあげて述べること。
- 条件4 「です・ます」体(敬体)でなく、「だ・である」体(常体)で書くこと。